

区分	評価指標	H28実績	H29実績	H30実績	前年度比	図書館運営全体	
図書館運営	基本的サービス					自己評価	外部評価
	資料購入費:決算数値(千円)	38,422	37,459	32,761	0.87	<p>・前年度の豪雪による利用の減少幅を元に戻すことはできなかったが、個人の新規登録者数は増加しているの、新しい登録者を図書館利用につなげる工夫をする。</p>	<p>3 大変評価する。8%</p> <p>2 ある程度評価する。84%</p> <p>1 評価できない。8%</p> <p>・予算面の縮小は時代の流れとして残念だけど仕方がないにしても、それを跳ね返す工夫が必要と思う。当面は速効的な手を手立てて、成果を上げることが肝心である。まず、個人登録者・入館者数を増やすことから始めてほしい。小・中学生あるいは幼児を図書館に迎える手立てを具体的に立てることと思う。</p> <p>・利用者減少を戻す工夫をすべきだったと考える。豪雪のせいにはせず、「地域の茶の間」等へ出前したりして、移動を試みる努力が必要だった。</p> <p>・資料購入費が毎年減額になっているが市民サービスの面で不安を感じている。</p> <p>・減少要因を追求する必要があると思う。</p> <p>・何かと厳しい中、図書館が色々な事業を行ったり活動をしているのがわかります。新規登録者数も増えているようなので期待しております。</p> <p>・新規登録者の増加は、図書館の存在がアピールされている結果なのかどうか、他の理由があるのか、調査も必要ではないかと考える。新潟市に転入してきた人々への図書館PRに期待する。</p> <p>・数字は重要ではあるが、人数の動向に一喜一憂することなく、地道にサービス向上に取り組んでほしい。資料購入費の減額は避けたいが、購入書籍を精査して、図書館として必要な書籍はもたさず購入してほしい。</p> <p>・利用の減少に、豪雪は関係あるでしょうか。全体として、減少してきているように見えます。</p> <p>・利用者の減少が何処にあるのか再度検討して利用の拡大や図書館のPRを一層図ってほしい。</p> <p>・貸出点数は昨年度より減少しているが、新規登録者が伸びたことは評価できる。</p>
	蔵書点数(点):図書・AV	461,787	472,147	481,075	1.02		
	個人の貸出点数(点):雑誌・AV含む	1,153,089	1,093,896	1,085,360	0.99		
	個人の登録者数(人)	41,699	40,357	38,766	0.96		
	(内新規登録者数)	4,686	4,609	4,800	1.04		
入館者数(人)	後期 新規 591,605	557,519	555,547	1.00			

区分	評価指標	H28実績	H29実績	H30目標	H30実績	自己評点	R1目標	評価(次年度への展開)		
7	ネットワークを生かした「課題解決型図書館」							自己評価	外部評価	
	レファレンス件数(件) ※資料の所蔵調査を含む	23,879	24,525	24,600	21,734	1	22,000	<p>・一般利用者だけでなく、庁内にも働きかけ、ビジネス支援サービスの提供を行った。</p>	<p>3 大変評価する。0%</p> <p>2 ある程度評価する。100%</p> <p>1 評価できない。0%</p> <p>・図書館は必要な市民に具体的に応えればそれなりに利用者は増えるもの。市民が何を必要としているかどんな市民が必要としているか分析することが大切と思う。</p> <p>・わずかずつでも実績を作ってほしい。</p> <p>・ビジネス支援相談のニーズが多いですね。庁内の働きかけも良かったのだと思います。</p> <p>・レファレンス件数・個人予約件数が目標に届かない要因を把握しての翌年度目標数値なのか？ ビジネス支援サービスの提供を行った働きかけが重要である。</p> <p>・レファレンス件数、個人予約件数とも、目標に届かなかったのは残念でした。しかし、ビジネス支援サービス相談の方は増加しています。</p> <p>・市民職員への働きかけは評価できる。</p> <p>・ビジネス支援の目標が実績を上回っていることは大変評価できる。情報提供を継続し、件数が増加することを期待する。</p>	
	個人予約件数(件)	143,287	137,203	140,000	137,547	1	140,000			
	ビジネス支援サービス相談受付件数(件)	205	287	230	281	3	285			
	特色ある地域づくりに寄与する「分権型図書館」								自己評価	外部評価
	郷土・行政資料の蔵書冊数(冊)	40,088	41,175	42,000	42,405	3	42,500	<p>・積極的に郷土・行政資料の収集を行い、市民への提供に努めた。</p> <p>・様々な団体との連携及び協力を進めた。</p>	<p>3 大変評価する。17%</p> <p>2 ある程度評価する。75%</p> <p>1 評価できない。8%</p> <p>・上項目も含め、この増減にはあまり捕らわれる必要はないと思う。それは母数そのものが少ないから全体の茶館者を増やす効果が少ないからである。やはり一般の本を読み、楽しむ市民をどう育てるかに工夫を集中させ、それからそうした人たちの中に個別の需要を盛りこすことが大切だと思う。</p> <p>・貸出冊が多いのだから貸出冊数にそれほどこだわらない方がよいと思います。</p> <p>・とても良いと思います。ですがやはりせっかくの資料の本がもう少し市民に活用される場があるといいと思いました。</p> <p>・郷土・行政資料の収集を行い市民への提供に努めたことを評価する。これからも団体との連携・協力をすすめることを期待する。</p> <p>・美術館・博物館など、行政施設に所蔵されている郷土関係の文献資料等について、一括して管理するようなシステムを築くべきだと思う。</p> <p>・コレクション展を行った際には、貸出数や来場者数に反映されていない。また、蔵書増加はできているが、市民への提供という貸出数に反映されているのか、疑問。</p> <p>・子ども読書推進以外の職員派遣人数が0だったということですが、これはどのような派遣なのか、指標をとる意味があるのでしょうか。</p> <p>・郷土・行政資料が年々増加しているのは、大いに評価できる。ネットで本を注文したり(中古を含む)、電子書籍を読んだりすることに慣れた世代に足を運ばせる意味からも、ほかでは手に入りにくい郷土資料をさらに増やしていく必要がある。</p> <p>・市民へ郷土史等の提供は大いに評価すべきである。</p> <p>・継続を期待する。</p>	
	郷土・行政資料の貸出冊数(冊)	7,475	6,988	8,000	7,234	1	8,000			
	職員の派遣人数(延人数) ※子ども読書推進以外の派遣	後期 新規 3	2	2	0	1	2			
	公民館等との連携・協力事業数(件) ※子ども読書推進以外の事業	後期 新規 24	18	20	24	3	25			
	子どもの読書活動を推進する「学・社・民融合型図書館」								自己評価	外部評価
	児童書の貸出冊数(冊)	232,662	230,157	231,000	231,751	3	232,000	<p>・学校への団体貸出冊数は、自校で必要な資料の準備ができるようになったことや資料を使った調べ学習が減少したこと、また、前年度大きく利用が伸びた高等学校の利用が平年度並みとなったこと等、複数の要因により減少したと考えられる。</p> <p>・子ども・親子対象事業は、本探しゲームなどの参加しやすい事業を企画・実施したことで、参加者の増加につながった。</p> <p>・職場体験は、積極的に受け入れを行ったことで目標を達成した。</p> <p>・学校や園、公民館等の読み聞かせ講座などへの職員派遣の依頼は積極的に行ったが、依頼が減ったことにより、目標には達しなかった。</p>	<p>3 大変評価する。42%</p> <p>2 ある程度評価する。42%</p> <p>1 評価できない。16%</p> <p>・小・中学校の夏期休業中の貸出しを奨励したり、宣伝したりすべきだと思う。それには教員ともっと連携をとるべきだと思う。図書館の考える推薦図書や強教師にアピールしたり、市教研の図書館部会の人たちの知恵を借りたり、やれることはまだまだある。新潟県の学校では感想文コンクールなどやっているがそれとの協力体制はどうなっているのか考えてほしい。</p> <p>・対象者のニーズを掘り下げて対応するべきでは。</p> <p>・春・夏・冬休みに子供イベントを充実させ図書館に来ると楽しいと思わせる企画を望みます。</p> <p>・楽しい企画で子ども図書館が身近に感じられ、このまま本好きに繋がってくれたらと願いました。また、依頼の減少など図書館の問題ではない所もあり目標達成に至る事が難しいと感じました。何かよい改善策が見つかるとういのですが・・・</p> <p>・高等学校の利用が前年度のみ増加したのは理由があるのか。子ども・親子対象事業・職場体験など、工夫した企画や積極的な受け入れを行ったことを評価したい。</p> <p>・学校への団体貸出は本当に必要な児童へ確実に届く形ですので、それが減少しているのは残念なことだと思います。</p> <p>・学校の貸出については、インターネットの普及もあり貸出数ではない。貸出することに意義がある。</p> <p>・子ども・親子対象事業の参加者数が大幅に上回ったことは大変評価できる。継続を期待する。</p>	
	小・中・高等学校への団体貸出冊数(冊)	後期 新規 33,486	34,296	34,500	28,783	1	28,000			
子ども・親子対象事業の参加者数(延人数)	4,522	5,069	5,000	8,819	3	8,000				
職場体験受入人数(人)	38	34	30	32	3	30				
職員の派遣人数(延人数) ※子ども読書推進に関わる派遣	後期 変更 25	33	30	23	1	25				
公民館等との連携・協力事業数(件) ※子ども読書推進に関わる事業	後期 新規 2	2	3	1	1	3				
市民参画と協働を推進する「パートナーシップ型図書館」								自己評価	外部評価	
図書館ボランティア活動者数(延人数)	1,707	1,705	1,700	1,377	1	1,700	<p>・平成29年度に行った中央図書館開館10周年記念事業がなくなったため、平成30年度はボランティア活動数及び共催・協働事業が減少した。</p>	<p>3 大変評価する。0%</p> <p>2 ある程度評価する。83%</p> <p>1 評価できない。17%</p> <p>・ここもきっと戻すほみになっているのだと思う。最近の教師などは本を読まず、本のおもしろさを知らず子どもたちを本好きに育てたいと思わない人が多く、退職後にボランティアとして図書館の活動に協力する人が少なくなっている結果なのだと思う。なにしろ、学校・園との協力を考えてほしい。</p> <p>・利用者の意見を把握する機会不足。</p> <p>・市民と年1回カンファレンスを行ってほしい。毎年お願いしています。</p> <p>・ボランティアは必要だと思うので参加しやすい何かよい改善策を求めたいと思います。</p> <p>・記念事業で、必要としたボランティアの人数であったとするが、これからのボランティアの推移を注目でいきたい。</p> <p>・10周年イベントがなかったため、イベントに携わるボランティアが減ったという説明は納得です。</p> <p>・開館10周年の事業が無かったことは分かるが、ボランティア活動者数、ボランティア団体交流会参加者数ともに、年々落ち込んできていることはやはり心配である。何かしらの工夫をお願いしたい。</p> <p>・周年事業とのかかわりで減少は問題はない。</p> <p>・市民との協働なくして、図書館運営は難しいのではないかと感じる。大変難しい側面もあるかと思うが、市民の力を借り、図書館がリーダーシップを発揮して、活動者の維持を期待する。</p>		
ボランティア団体交流会参加者数(延人数)	55	43	50	26	1	30				
利用者の意見を把握する機会の設定(回)	4 (協議会3回、正副協議会長会議1回)	3 (協議会3回)	3	3	2	3				
共催・協働事業の実施件数(件)	後期 変更 57	46	55	39	1	40				
効率的・効果的な運営(職員)								自己評価	外部評価	
研修参加職員数(延人数)	240	281	280	345	3	350	<p>・司書としての専門的研修のほか、市役所職員として必要なスキルや能力向上のための研修にも積極的に参加し、目標を大幅に上回った。</p>	<p>3 大変評価する。58%</p> <p>2 ある程度評価する。34%</p> <p>1 評価できない。8%</p> <p>・これも大切だと思うけれど権威的な人を学術を講師に招いたり、図書館の管理職が指導したりするのではなく、もっと本当に実践的な人、おもしろい考えの人、異なった考えの人の指導を。</p> <p>・外部研修外と考える。</p> <p>・参加人数の増加から意欲が伝わる。</p> <p>・研修参加人数が多い事は良い事だと思います。</p> <p>・これからはスキルや能力向上のため研修を重ねてもらいたい。</p> <p>・研修を受けた成果がどこに出るのか、実績に結びつけてほしい。</p> <p>・職員の方々のスキル・能力向上は、図書館費用全体が抑えられている現在、まさに生命線だと思います。今年度目標より多くの方が研修に参加できてよかったと思います。</p> <p>・司書の専門スキルの向上に努めるための研修はよいことである。</p>		

※「自己評点」欄の数値について …… 3:目標値を上回って達成 2:目標どおり達成 1:目標値を下回った

※「自己評点」欄の数値について …… 3:目標値を上回って達成 2:目標どおり達成 1:目標値を下回った